

## AWN CONSULTING 発表 2014年のSEO動向総括、2015年の予測 ～Googleが行うSEOに対する施策動向と予測～

AWN CONSULTING株式会社(東証マザーズ:2459、本社:東京都文京区、代表取締役:信太明、以下AWN CONSULTING)は、東京、沖縄、台湾、香港、タイ、シンガポール、韓国のアジア7拠点で、SEM(検索エンジンマーケティング)サービス、インターネット広告、ソーシャルメディアなどのグローバルマーケティングを展開しています。また、SEOをアジアでいち早く事業化させており、SEO事業を開始して2014年で16期目を迎えています。そしてこのたび、2014年におけるSEOの動向と、AWN CONSULTINGが予測する2015年の動向を発表いたします。

### AWN CONSULTING 発表 2014年のSEO動向総括、2015年の予測

#### ■2014年のSEO動向総括

SEOはGoogleの検索エンジンが決めるアルゴリズムに対する施策ですが、そのアルゴリズムは刻々と変化、進化を遂げており、Googleがユーザーに対してより最適な情報提供したいという意図が表れています。

2014年は、世間を騒がせるような大きなアルゴリズムの変更は特段ありませんでしたが、それでも多くの目新しい動きがあり、特に“モバイル”に関連した変更が挙げられます。スマートフォンでサイトを閲覧した際、ユーザー視点で最適ではないサイトに対して、Googleは検索結果上の表現に手を加えています。また、スマートデバイス(スマートフォンやタブレット等)や、ウェアラブル端末が出てきている昨今、Googleは様々なデバイスに対する施策を今後も進めていくのではないかと予測できます。

#### 〈2014年の主な出来事〉

##### ・Author Rank(オーサーランク)の終了

キーワードを検索した際、コンテンツの権威を示す、Googleのアルゴリズムの一つです。しかし、2014年夏に廃止が発表されました。

##### ・ハミングバード

Googleのアルゴリズムの一つで、キーワード単体ではなく文章構成で評価されることを示しています。例えば、「りんごを買う」という検索キーワードで、従来は「りんご」「買う」を含むサイトが優先して表示されていました。しかし、ハミングバード導入以降は「りんごを買う」という文章全体が考慮され、検索結果に反映されるようになりました。

・SNS に対する評価

Facebook の「いいね」の数や Twitter のフォロワー数等は、検索順位に影響を与えることはないと Google は正式に発表しました。

・SSL 認証(https)

データを暗号化して通信することで、セキュリティ面の向上が期待できます。Google は、SSL 認証をランギングシグナルに利用すると明言しています。今のところ検索クエリ 1%未満の影響と軽微なようです。

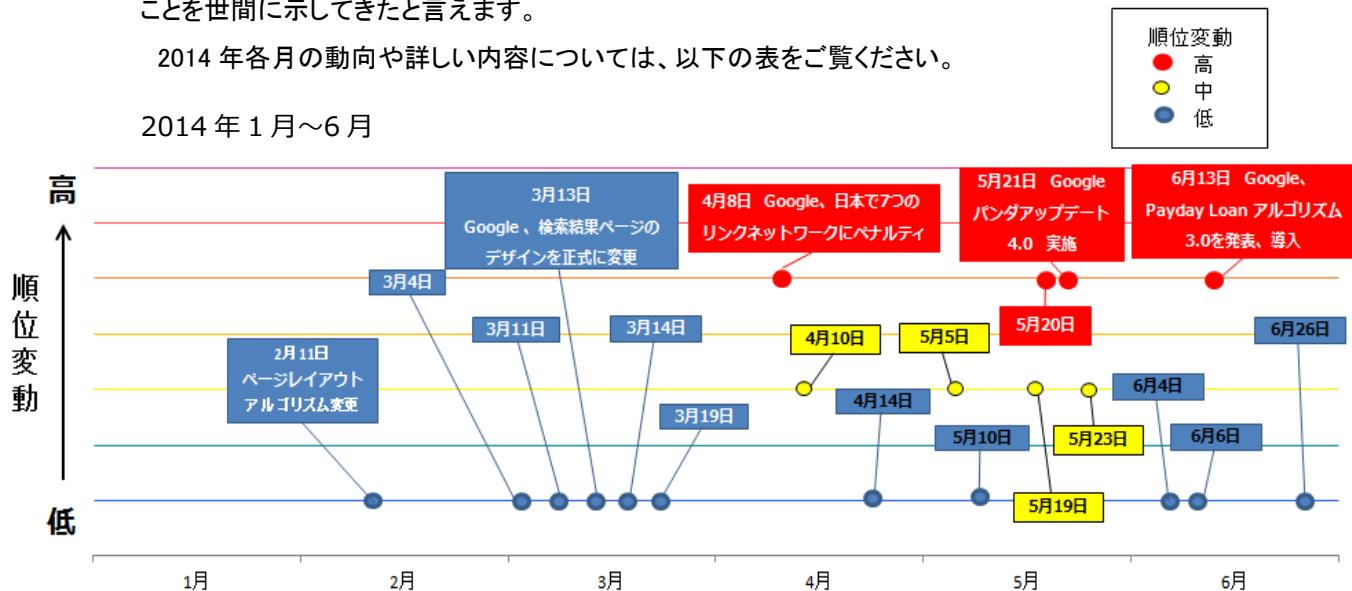
2014 年、大きな変動はなかったと上述しましたが、ここ 2、3 年で、Google は不正なサイトに対して大きく規制を加えてきました(ここで述べる不正なサイトとは、SEO 目的のために作られたサイトや、そのサイトからリンクを受けているサイト等を指します。)。

この動きは 2011 年秋頃から本格化し、2012 年、2013 年と大きくアルゴリズムのアップデートが行われてきました。規制の内容としては、前述した不正なサイトに対し警告メールを送る(警告に従わない場合は順位を下げる等のペナルティを課す<手動対応>)という直接的なものや、品質の低いリンクを貼っているサイトの順位を下げる<ペンギンアップデート>、質の低いコンテンツがある場合順位を下げる<パンダアップデート>等が挙げられます。

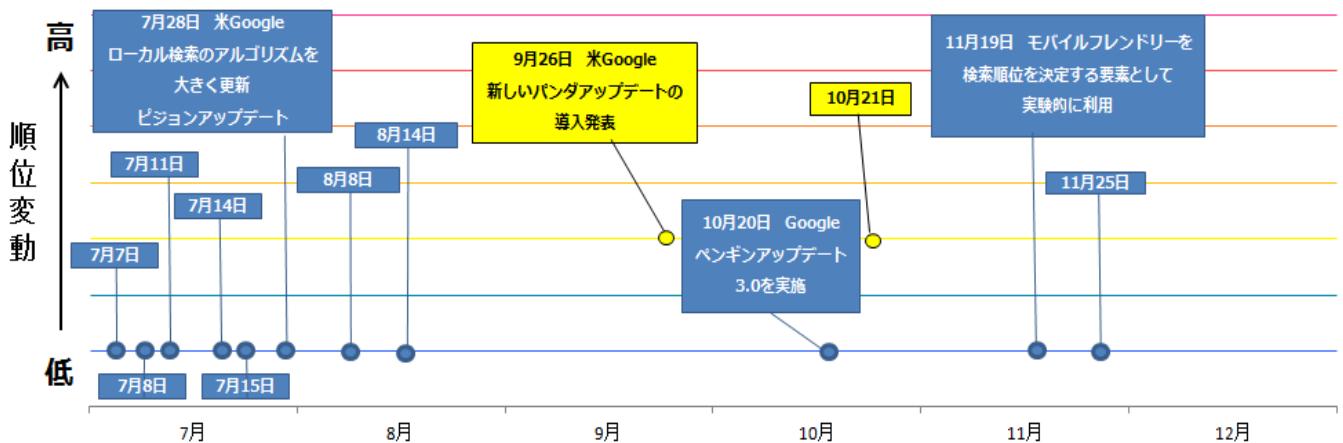
2014 年はある程度これらの精査が進み、専門家以外の人も啓蒙がなされた段階に入ったと言えるのではないでしょうか。Google はインターネットユーザーに対して最適な検索結果を提供したいという思いから、単に SEO 目的だけのサイトや不正な外部リンクを貼っているサイトを、排除する動きがあることを世間に示してきたと言えます。

2014 年各月の動向や詳しい内容については、以下の表をご覧ください。

2014 年 1 月～6 月



2014 年 7 月～12 月



## 2014年 SEO動向

日付	国	動向情報	概要	順位変動
2月11日	世界	ページレイアウトアルゴリズムを更新	Googleがページレイアウトアルゴリズムを更新したことが判明。SEOへの影響は少ないと見られています。	低
3月4日	世界	ペナルティを受けたとき、新しいサイトをつくる前にすべきこと	不自然なリンクや、ペンギンアップデートによるペナルティーを受けた場合、ペナルティーを受けたサイトは捨てて、新たなサイトを作ることがよいとされてきましたが、新しいドメインにもペナルティがフォローされるといわれている今、新しいサイトを作るかどうか決める前にまずは次のポイントをチェックしてみるとよいでしょう。 (1) 質の悪いリンクの精查、削除 (2) リンク否認申請 (3) (1) ~ (2) を何回か繰り返す (4) 2ヶ月程度、トラフィックに変化があるまで待つ (5) トラフィックに変化がなければ、新しいサイトをつくる	低
3月11日	世界	Google、TwitterやFacebookデータはランキングに利用せず、Google+はパーソナライゼーションに利用	サンノゼで開催された SMX West 2014 において、Googleは改めて、TwitterやFacebookをシグナル（順位決定のための手がかり）として利用していないことを明らかにしました。検索利用者のニーズを反映して、パーソナライゼーションの際にGoogle+のシグナルを反映しているが、一般検索結果の順位決定に影響を及ぼすような利用はしていないと説明しています。	低
3月11日	世界	Google、参照キーワードの"not provided"問題を解決へ、数ヶ月内に解決策を発表	サンノゼで開催された SMX West 2014 において、Google 自然検索経由の流入キーワードを取得できない問題を解決する方法を、今後数ヶ月以内に提供することを明らかにしました。数ヶ月のうちにソリューションを発表するということで、再びキーワード情報が取得できる可能性が出てきました。	低
3月12日	世界	Googleにモバイル版サイトを認識してもらう方法	レスポンシブデザインの設定、もしくはPC版、モバイル版、それぞれのサイト（URL）の2つのURLを作成して、PC、モバイル版に対応したサイトの管理を行います。どちらの場合も、CSS、JavaScriptをブロックしないように注意しましょう。グーグルボットをブロックすると、サイトを認識して検索結果に表示することができなくなってしまいます。	低
3月13日	世界	Google、検索結果ページのデザインを正式に変更	Googleの検索結果ページが正式にデザイン変更されました。モバイル版同様にリンクのアンダーラインがなくなり、文字サイズが大きくなったりデザイン的な変更に加え、表示タイトル文字数の変更など、SEO的にも影響を及ぼしています。	低
3月13日	世界	Googleのマットカツ氏、SSLサイトの上位表示を支持	サンノゼで開催された SMX West 2014 において、2014年のSEOトレンドの一つとして、SSL化されたサイトの重要性が取り上げられていますが、SSL証明書を取り扱っている企業の株価などに多大な影響を与えるため、SSL化されたサイトが上位表示されるようになるには、もう少し時間がかかりそうです。	低
3月13日	世界	Google、「次世代のパンダアップデート」を予告、小規模サイトに恩恵？	サンノゼで開催された SMX West 2014 において、現在Googleの担当チームはパンダアップデートのための開発を行っていることを明らかにしました。次のパンダアップデートは、小規模なサイトや事業者にポジティブな影響が出るはずだと述べています。	低
3月19日	世界	複数のパンくずリストを1つのページに設置することはSEOにおいて問題なし	GoogleのMattcutts氏は、SEOにおいて複数のパンくずリストがあっても問題ないことを明らかにしました。現状ではGoogleはパンくずリストが複数あっても1つ目を採用するので、パンくずリストを複数設置する場合、Googleに認識してほしいパンくずリストを1番目に配置するとよいでしょう。	低
4月8日	世界	Google、日本で7つのリンクネットワークにペナルティ	Google Webスパムチームの管理者、マットカツ氏によると、「Googleは、過去数ヶ月にわたって、日本の7つのリンクネットワークに対して適切な処置をとった」ことを明らかにしました。Googleは、不自然なリンクを単に無効にするだけでなく、リンク売買にかかわっていたサイト管理者にガイドライン違反の指摘を行い、リンクを取り除くよう指導していました。	高
4月10日	世界	Google、キーワードの詰め込み過ぎに注意	以前は、メタタグにキーワードを詰め込んだり、画像に大量のキーワードを入れたり、隠しテキストという手法で上位表示されるとされてきましたが、キーワード詰め込み（キーワードスタッフィング）は、現在のSEOではスパム扱いになります。1ページ内にキーワードを300以上詰め込むなど、不自然なキーワードの詰め込みに注意が必要です。	中
4月10日	世界	Facebook、スパム排除を目的としたニュースフィード表示アルゴリズム変更を発表	米Facebookは2014年4月10日、ユーザーを不快にするスパム投稿が表示されないようニュースフィードのアルゴリズムを変更すると発表しました。	低
4月14日	世界	Google、ビジネス向け電話番号表示の新しいスキーマ	Bing、Google、Yahoo！、Yandexなどに伝えたい情報を読み取ってもらうためのマークアップ方法「スキーマ(schema.org)」1。スキーマの活用で、検索エンジンに正しい情報を伝えることができるため検索結果に正しい情報が表示されやすくなっています。SEO効果も期待されます。最近Googleがアウンスした新しいサポートでは、同じ会社であってもサービスによって異なる電話番号を検索結果に表示することが可能になりました。	低

## 2014年 SEO動向

日付	国	動向情報	概要	順位変動
4月21日	世界	スパムドメインを購入するリスクを軽減する方法	GoogleのMattcut氏によると、「site:対象ドメイン」検索、「ドメイン名-.com（ドットコム）」などでドメイン名検索（悪い噂がないかチェック）、インターネットアーカイブで過去のコンテンツチェック、などを試してみることでスパムドメインを購入するリスクを軽減できるとしています。	低
4月23日	世界	小さいサイトを上位表示させる方法	GoogleのMattcut氏によると、Googleが、高いトラフィックを獲得しているWebサイトだからといって検索結果で自動的に上位表示させるようではなく、サイトの規模に左右されることはありません。とはいっても、サイト運営者が1人である場合と200人である場合ではWebサイトの運営に差が出てきてしまいます。もし、サイト運営者が1人しかいない場合は、いきなり大きなWebサイトをつくろうとは思わず、トピックや分野を絞って、その分野に関しては他のどのWebサイトにも負けない量・質ともに良い情報を提供していくとよいでしょう。	低
5月1日	世界	Webページ本文のコンテンツの重要性	多くの人たちが、ディスクリプションやキーワードなどに力を入れていますが、ヘッド<head>の部分だけを考えるのではなく、ボディ<body>の部分にも力を入れる必要があります。	中
5月5日	世界	Google「バックリンクの重要性は薄れる」 今後は著者オーソリティやコンテンツ分析へ	バックリンクは、Webサイトの「評判」を判断する指標としては今も有効ですが、ユーザーにとっては特定のページコンテンツの質が重要で、コンテンツの質に関心を持っていることから時間とともに（数年で）、バックリンクの重要性は薄れていくといえるでしょう。	中
5月10日	世界	Webコンテンツの長さや更新頻度よりも重要なのは「質」	Googleのジョン・ミューラー氏は、Webコンテンツの文字数や更新頻度などを気にするサイト管理者に、文字数や更新頻度でコンテンツを評価するのではなく、コンテンツの質で評価することを明言しました。	低
5月19日	世界	Google著者情報（=オーサーランク）はランキング要因として使われていない	GoogleのJohn Mueller（ジョン・ミューラー）氏が、公式ヘルプフォーラムに投稿された質問への回答として、Googleの著者情報はウェブ検索の検索順位を決定する要因としては使われていないことを明言しました。著者情報が影響するのはIn-depth articlesのみです。	低
5月19日	世界	Google、モバイルに適したページ作成支援・PageSpeed Insightsをアップデート	米Googleは2014年5月19日、モバイルフレンドリーなページ作成を支援するPageSpeed Insightsをアップデートしたことを公式ブログで発表しました。	中
5月20日	世界	Google、ペイデイローン・アルゴリズムの更新	米Googleは2014年5月20日、Payday Loan（ペイデイローン）アルゴリズムを先週末（日本時間5月17日～）にロールアウトしたことを公式に発表しました。外部リンク施策やページ内部の最適化が過度に行き過ぎていて検索結果に多数のスパムページが表示されてしまっている状況を改善することでサービス品質を高めることを主たる目的としたアルゴリズム更新です。	高
5月21日	世界	Google、パンダアップデート4.0実装	5月18日前後から大きなGoogle検索順位変動が確認されていましたが、5月21日、GoogleのWebスパムチームの責任者マットカツ氏は、パンダアップデート4.0を実装したことをツイッターで明らかにしました。	高
5月23日	世界	Google、パンダアップデート4.0は新しいアーキテクチャ（基本設計）に	GoogleのWebスパムチーム管理者のマットカツ氏は、今回のパンダアップデート4.0が将来的にアルゴリズムの基盤となっていくということを新たに明らかにしました。	中
5月23日	世界	Google、JavaScriptの処理能力を向上 ウェブマスターツールにJS診断ツールを提供予定	Googleは、JavaScriptを理解する能力を一段と向上させていることを公式ブログで紹介しました。JavaScriptを診断しやすくなるために、専用のツールをウェブマスターツールにGoogleは提供する予定です。Googlebotがサイトをどのようにレンダリングしているかを検証できます。	中
6月5日	世界	パンダアップデート更新で手動ペナルティが解除されることはない	GoogleのMatt Cuts（マット・カツ）氏はTwitterでのフォロワーの質問に対し、パンダアップデートの更新と手動ペナルティは完全に別物であり、偶然タイミングが重なったサイトもあったかもしれないが、両者が影響し合うようなことはない、とコメントしました。	低
6月6日	世界	被リンクなしで上位表示することは可能か？	GoogleのMatt Cuts氏はユーザーからの質問に対しYou Tubeにて、検索ユーザーが本当に珍しいキーワードで検索し、ウェブ上にそのキーワードが含まれたページがほとんどなかったら、被リンクがなくてもそのページを検索結果で返すかもしれない、とコメントしました。	低
6月13日	世界	Google、Payday Loan アルゴリズム3.0を発表、導入	GoogleのMatt Cuts氏がtwitter上にて、ペイデイローンアップデート3.0の運用を開始したことを発表しました。	高
6月26日	世界	Google、検索結果画面での著者写真とフォロワー数の表示を中止	GoogleのJohn Mueller（ジョン・ミューラー）氏はGoogle+の投稿にて、検索結果画面に著者のプロフィール写真とGoogle+でのフォロワーの数を表示することを中止したことを発表しました。同氏はPCとモバイルで統一感があるデザインを提供するための一環だと説明しています。	低

## 2014年 SEO動向

日付	国	動向情報	概要	順位変動
7月7日	世界	自動アルゴリズムによる リンクペナルティの解除には時間がかかる	GoogleのJohn Mueller（ジョン・ミューラー）氏は、公式ヘルプフォーラムに投稿された質問に対し、ペナルティを解除する対策を施したとしても、その結果が目に見えるまでにかなり長い時間がかかるアルゴリズムがある、とコメントしました。リンクの場合、削除や修正、あるいは否認されたことを認識するために再クロール・再処理する必要があり、それらのデータが統合されて検索結果の新しい情報として再発行されるまでに、かなりの時間を要するようです。	低
7月8日	世界	Googlebotのインデックスを邪魔する インターミスティシャルに注意	GoogleのJohn Mueller氏は、Google+のコミュニティで挙がった質問に対し、ユーザーが何らかのアクションを明示的に行なわないとそのページのコンテンツを閲覧できない"インターミスティシャル"のようなタイプのものをGoogleは識別しようと試みはするが、インデックスの結果、主要なコンテンツを見過ごしてしまうことがある、とコメントしました。	低
7月11日	世界	Googleの検索品質評価ガイドラインが大幅に改定	Googleの検索品質評価ガイドラインが大幅に改定され、新たに「専門性・権威性・信頼性」について言及した項目が追加されました。また、高品質なページに求められる条件としてその他に、1) 満足感を与える量のメインコンテンツ、2) 良い評判、3) 役立つ補助コンテンツ、4) 実用的なページデザイン、5) 満足がいく量のウェブサイトの情報、6) 手入れがよく行き届き、きちんと維持されているウェブサイト、といった項目が挙げられています。	低
7月14日	世界	ペナルティを受けたサイト（ドメイン）の移転先に 競合サイトを指定した場合、 そのサイトの順位を落とすことが可能か？	ペナルティを受けたサイト（ドメイン）のリダイレクト先に競合サイトを指定した場合に、そのペナルティが適用され順位下落などのダメージを与えることができるか、という質問に対し、GoogleのJohn Mueller氏は、そのようなことは通常は起こらない、と回答しました。これは過去の運用・活動履歴と照らし合わせてリダイレクト元とリダイレクト先サイトの妥当性や関連性を判断するなど、リンク解析アルゴリズムが適切な処理をできていると言えます。	低
7月15日	世界	Googleモバイル検索、 Adobe Flash利用サイトに警告を表示	米Googleは、検索利用者が使用しているデバイスでは正常に表示されない可能性があるウェブサイトを検出した時に、その旨を検索結果で告知する新機能を追加すると発表しました。例えばiOSやAndroidでサポートしていないAdobe Flashを利用したページへのリンクが検索結果に含まれていた場合、同ページのスニペット下部に警告が表示されます。	低
7月28日	世界	米Google、ローカル検索のアルゴリズムを大きく更新 ——ピジョンアップデート	Googleがローカル検索結果（地図検索結果）を提供するアルゴリズムを大幅に更新したことをSearch Engine Landがレポートし、これをピジョンアップデートと名付けました。この更新により、1) 通常のウェブ検索のアルゴリズムに今までよりも密接に統合、2) Googleマップとウェブ検索のローカル検索結果に影響、3) 距離と場所のランキング要因を改善、がなされました。今のところ米Google（google.com）の英語の検索結果のみに実施されており、日本でも導入されるかどうかは明らかにされておりません。	低
8月8日	世界	Google、SSL/HTTPSのランキングシグナル採用を発表	Googleは、HTTPS (SSL/TLS) を検索順位を決めるアルゴリズムに使用することを公式に発表しました。ただし重みづけは非常に軽微で、全検索の1%未満にしか影響しないとしています。	低
8月14日	世界	Google、SSL/HTTPSのランキングシグナルは 検索結果にリアルタイム反映	GoogleのJohn Mueller（ジョン・ミューラー）氏は、English Google Webmaster Central office-hours hangoutの中でウェブマスターからの質問に対し、HTTPS対応というシグナルはリアルタイムにオーガニック検索順位に反映される、と答えました。	低
9月26日	世界	米Google、新しいパンダアップデートの導入発表	英GoogleのPierre Far（ピエール・ファー）氏は、改良したパンダアップデートの更新を開始したことを、Google+への投稿で明らかにしました。	中
10月20日	世界	Google、ベンギンアップデート3.0を実施	英GoogleのPierre Far氏は、ベンギンアップデートを更新したことをGoogle+にて発表しました。同氏によりますと、米国での英語の検索結果への影響は1%未満とのことです。	低
10月21日	世界	米Google、著作権侵害対策として パイレーツアップデートの更新を発表	米GoogleはPublic Policy Blogにて、DMCA（デジタルミレニアム著作権法）に基づき著作権侵害の申し立てが多数あったWebサイトの検索順位を下げるパイレーツアップデートを更新し、より一層強化したことを発表しました。このアップデートにより、関連語句の検索により表示される広告が正規のサイトのみになる他、オートコンプリートからも著作権侵害サイトにつながるキーワードが出ないようになります。	中
11月19日	世界	米Google、モバイルフレンドリーを 検索順位を決定する要素として実験的に利用	米Googleは、Webサイトがモバイルフレンドリーであることをランキングシグナルの一つとして実験的に利用していることを明らかにしました。テストの結果によつては、今後正式に採用される可能性もあり、注意が必要です。	低
11月25日	世界	展開ボタンやタブで隠れたコンテンツは、 検索結果の対象として無視される可能性がある	GoogleのJohn Mueller（ジョン・ミューラー）氏は、English Google Webmaster Central office-hours hangoutの中で、展開ボタンやタブで隠れたコンテンツに対し、検索結果の対象としては無視することがあると回答しました。ユーザーにとって重要なコンテンツだと考えるなら、あるいはページを分けてでもデフォルトで見える状態にしておくことを勧めています。	低

## ■2015 年の予測

### 〈スマートフォンへの SEO 施策〉

“スマートフォン”に対しては、更に施策が進むのではないかと考えています。現在、世界中でスマートフォンのシェアは日々拡大を続けています。Google はこの傾向を考慮し、今後も“モバイル”つまりスマートフォンに対し何らかの施策をするのではないかと予測できます。例えば、サイトがスマートフォンに対応しているか確認できる「モバイルフレンドリー」という Google が提供しているサービスを、検索順位を決定する要素として Google は実験的に施策を行っている現状も踏まえ、今後スマートフォンに対する施策が、より増加する傾向にあると予測しています。

また、実際に Google は、

- ・Flash の使用
- ・スマートフォンサイトへの適正なリダイレクト方式に対応していない
- ・スマートフォン向けサイトへの最適化をしていない

以上のものに対して規制を加えると明言しています。

人々がスマートフォンでインターネットを簡単に利用できる昨今、PC とスマートフォンの差別化が進んでいくのではないかと考えられるため、スマートフォンに向けの施策を行うことが必要不可欠だと考えます。

### 〈コンテンツの重要性〉

パンダアップデートに代表されるように Google の方針として他者のコンテンツをコピーし、あたかも自分のコンテンツとして成り立たせているサイトやページ、オリジナリティに欠ける低品質なサイトやページへの対策を一層強化しています。

また、業界的にはコンテンツマーケティング元年ともいわれ、Google もコンテンツの重要性を説いてきた 1 年でした。“コンテンツマーケティング”という言葉が過剰に捉えられ、あたかも Google の評価基準が変わった(リンクからコンテンツへ)ように受け止め、SEO のためだけのコンテンツ作成等を取り組まれる動きも一部見受けられたようでしたが、Google の本質は変わっていません。ユーザーにとって価値ある体験の提供、つまり“コンテンツの重要性”は昔から説いています。

決して SEO のためだけではなく、ユーザー視点で価値があるコンテンツ、オリジナリティがあるコンテンツの充実を心がけていくことで、本質的なサイト、コンテンツ価値の向上に繋がると考えます。

### 〈2015 年に向けて〉

2015 年もこれまで同様、Google は引き続き、ユーザーの検索体験を円滑にする施策を進めていくことは間違いないでしょう。2011 年からの大きな動き(手動対応、ペンギンアップデート、パンダアップデート等)が比較的知れ渡った 2014 年。2015 年は引き続き、ペンギンアップデート、パンダアップデート、モバイル施策がありつつ、新しい指標となるアルゴリズムの模索段階に入るのではないかでしょうか。

一方で、Google が考える検索サービスと、各企業の SEO 担当者様が考える SEO は、合致しないことがあります(例:施策の即効性、決裁者への理解等)。当社では、今後も Google への理解、SEO への理解を深め、本質的な SEO を追及しながらも、お客様のニーズに応えられるサービスを提供出来る様に心掛けて参ります。

## ■アウンコンサルティング:グローバルマーケティングのご紹介

### アウンコンサルティング グローバルマーケティング

#### SEO

(検索エンジン最適化)



#### PPC

(検索連動型広告)



#### ソーシャル メディア



#### スマート フォン広告



×  
日本語・多言語

アウンコンサルティングでは、SEO(検索エンジン最適化)、PPC(検索連動型広告)、ソーシャルメディア、スマートフォン広告などのグローバルマーケティングサービスを、日本語だけではなく、外国語も対象に行ってています。現在 48 の国と地域にサービス実績があり、英語、中国語(簡体字、繁体字)、タイ語やその他の外国語にも幅広く対応しています。また、台湾、香港、タイ、シンガポール、韓国の海外 5 拠点を生かし、アジアの現地情報やグローバルインターネットマーケティングにおけるナレッジも蓄積しております。グローバルマーケティングについて、また、現地情報の収集の際にも是非ご相談ください。

#### 【グローバルマーケティングのサービス概要】

URL: <http://www.globalmarketingchannel.com/promotion.html>

## 調査概要

### 【調査主旨】

アウンコンサルティング発表 2014 年の SEO 動向総括、2015 年の予測

### 【調査要綱】

- ・ 調査機関: アウンコンサルティング調べ
- ・ プレスリリース本文中に出てくる各社サービス名称は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 本プレスリリースをご掲載される場合、『アウンコンサルティング調べ』とご記載の上、弊社までご連絡をお願いいたします。

### 【直近の調査記事】

・アジア 9 力国、不動産業界における日系企業の検索結果順位・検索連動型広告順位

2014 年 11 月 27 日リリース

<http://www.globalmarketingchannel.com/press/survey20141127>

・世界 40 力国、主要モバイルシェア状況【OS、筐体(機種)、スマートフォン普及率、人口】

2014 年 11 月 12 日リリース

<http://www.globalmarketingchannel.com/press/survey20141112>

・アジア 10 力国、検索数から見る日本への旅行を考える時期 2014 年 10 月 29 日リリース

<http://www.globalmarketingchannel.com/press/survey20141029>

・世界 40 力国、主要検索エンジンシェア【PC、モバイル】 2014 年 10 月 8 日リリース

<http://www.globalmarketingchannel.com/press/survey20141008>

・世界 40 力国、現地の知っておきたい数値 2014 年 9 月 24 日リリース

<http://www.globalmarketingchannel.com/press/survey20140924>

・世界 40 力国のフェイスブック(facebook)人口推移 2014 年 9 月 2014 年 9 月 10 日リリース

<http://www.globalmarketingchannel.com/press/survey20140910>

・アジア 10 力国の親日度 2014 年 8 月 26 日リリース

<http://www.globalmarketingchannel.com/press/survey20140826>

・アジア 10 力国における、日系企業の検索結果順位 2014 年 8 月 5 日リリース

<http://www.globalmarketingchannel.com/press/survey20140805>

・アジア 10 力国における、日本の人気観光地・検索数トップ 5 2014 年 7 月 29 日リリース

<http://www.globalmarketingchannel.com/press/survey20140729>



## アウンコンサルティング株式会社

### [事業内容]

東京、沖縄、台湾、香港、タイ、シンガポール、韓国のアジア 7 拠点で、SEO、PPC(リスティング広告)、ソーシャルメディア、リサーチなどのグローバルマーケティング事業を展開

[設立] 1998 年 6 月 8 日

[本社] 東京都文京区後楽 1-1-7 グラスシティ後楽 2F

[代表者] 代表取締役 信太明

[資本金] 341,136 千円 (2014 年 8 月末現在)

[URL] <http://www.auncon.co.jp>

[沿革] 1998 年 6 月 千葉県松戸市で設立

1998 年 9 月 福島県福島市へ本社移転

1999 年 10 月 SEO コンサルティングを開始

2001 年 1 月 東京営業所を東京都文京区に開設

2002 年 11 月 PPC(リスティング)広告を販売開始

2002 年 4 月 東京都文京区に本社移転

2005 年 11 月 東京証券取引所マザーズ市場上場

2006 年 12 月 沖縄支店を沖縄県那覇市に開設

2008 年 4 月 タイ・バンコクに現地法人設立

2010 年 6 月 台湾・台北に現地法人設立

2010 年 9 月 香港、韓国・ソウルに現地法人設立

2010 年 11 月 シンガポールに現地法人設立

### [プレスリリースに関するお問合せ]

広報担当 千代田 TEL: 03-5803-2739 /MAIL: [pr@auncon.co.jp](mailto:pr@auncon.co.jp)(ただし、@は半角)